

11月

新着本の紹介



予約の受付は、配架する**11月1日、午後1時**からです。青字は児童書

書名	著者名	内容
沈黙のパレード	東野 圭吾	容疑者は彼女を愛したふつうの人々。哀しき復讐者たちの渾身のトリックが、湯川、草薙、内海薫の前に立ちはだかる。第一作『探偵ガリレオ』の刊行から二十年——。シリーズ第九作として、前人未踏の傑作が誕生した。
下町ロケット 4 ヤタガラス	池井戸 潤	トランスミッション開発に乗り出した佃製作所。ギアゴーストやライバルメーカー・ダイダロスとの戦い、帝国重工の財前が立ち上げた新たなプロジェクト…。準天頂衛星「ヤタガラス」が導く、壮大な物語の結末とは？
天子蒙塵 第4巻	浅田 次郎	満洲で溥儀が皇帝に復位しようとしている。そんななか、新京憲兵隊将校が女をさらって脱走する事件が発生。欧州から帰還した張学良は、上海に襲い来る刺客たちを振り返りにして…。完結巻。
思い出が消えないうちに	川口 俊和	「ばかやろう」が言えなかった娘、「幸せか？」と聞けなかった芸人、「ごめん」が言えなかった妹、「好きだ」と言えなかった青年…。不思議な喫茶店で過去に戻る4人の物語。「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ。
ある男	平野 啓一郎	里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。『文学界』掲載を単行本化。
ゴンちゃん、またね。	ビートたけし	作家志望の則之と柴犬のゴン。一人と一匹の笑えて少し寂しい毎日を描いた、ビートたけしが贈る大人のための孤独と慈しみの寓話。色鮮やかな挿絵も収録する。『週刊文春』掲載を単行本化。
白いジオラマ	堂場 瞬一	刑事で、現在は神奈川県小田原市鴨宮で「防犯アドバイザー」を務める麻生和馬は、元引きこもりの孫・新城将に言った。「二万円やるから、俺のバイトを引き受けろ。張り込みだ」。無茶振りされた孫は、〈捜査〉ならぬ〈調査〉を開始する。やがて浮き彫りになる〈家族の断層〉——。

童の神	今村 翔吾	【角川春樹小説賞（第10回）】平安時代。鬼、土蜘蛛、山姥などと呼ばれ、京人から蔑まれていた「童」たち。一方、父と故郷を奪った京人に復讐を誓った越後生まれの桜暁丸は、様々な出逢いを経て、童たちと共に朝廷軍に決死の戦いを挑むが…。
医者が考案した「長生きみそ汁」	小林 弘幸	赤みそ、白みそ、玉ねぎ、りんご酢、4つの材料を混ぜるだけ。病気を遠ざけ、不調を改善する長生きみそ汁の作り方とアレンジレシピを紹介する。長生きみそ汁を習慣化させるコツも伝授。レシピの電子版が読めるQRコード付き。
ノラネコぐんだん おばけのやま	工藤ノリコ	ワンワンちゃんのだんごやさんをのぞいて、おだんごの作り方をしていたノラネコぐんだん。夜になると、お店に忍び込み、勝手におだんごを作って食べようと思いました。すると、おだんごが風に巻かれて飛ばされてしまい…!?
どんぐりむらのいちねんかん	なかやみわ	どんぐりむらの1月から12月まで、人気キャラ総出演で四季折々のどんぐりたちの暮らしや行事を描く、どんぐりむら歳時記。4月のお花見、7月のプールなど普段は見られない季節のイラストは必見!

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。